

# 西東京市市政モニター 令和5年度第1回調査結果

- テーマ：「平和推進事業」について
- 調査目的：平和推進の事業に関して、市政モニター制度を活用し、市民の意識調査を実施することで、年代別での意識の違いなどを調査し、効果的な啓発事業等の展開に活用する。
- 実施期間：令和5年5月26日～令和5年6月18日
- 登録者数：100人
- 回答者数：82人(回答率82%)

※割合の表示については、設問に応じて分母が異なること(回答者数又は全回答数)や、少数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

※自由記述や「その他」の回答については、一部表現を修正・抜粋しています。



「いこいな」  
©シンエイ/西東京市

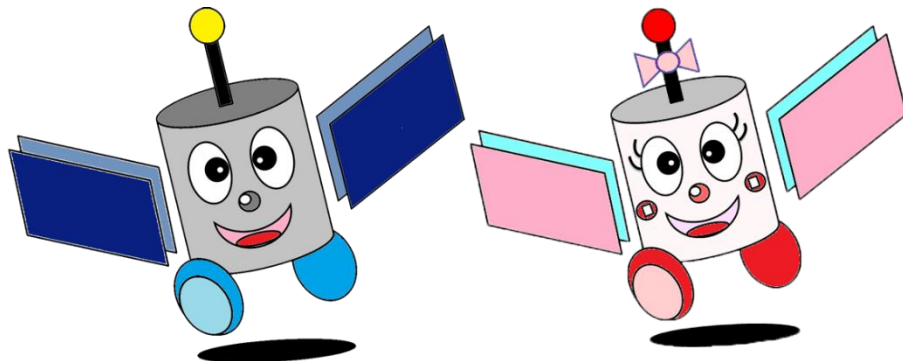
令和5年8月



西東京市 企画部 秘書広報課

# 目次

|   |    |
|---|----|
| 西東京市市政モニター回答者及び登録者の属性.....  | 1  |
| 問1 日本と外国が戦争したことを知っていますか。.....                                     | 2  |
| 問2 広島・長崎に原子爆弾が落とされた日を知っていますか。.....                                | 3  |
| 問3 家族や友人と戦争や平和についての話をしますか。.....                                   | 4  |
| 問4 戦争と平和についてどのような時に考えますか。.....                                    | 6  |
| 問5 西東京市も戦争により、被害があったことを知っていますか。.....                              | 7  |
| 問6 4月12日が西東京平和の日であることを知っていますか。.....                               | 9  |
| 問7 平和のリング(田無駅北口)を知っていますか。.....                                    | 11 |
| 問8 西東京市の「非核・平和都市宣言」を知っていますか。.....                                 | 12 |
| 問9 西東京市で行っている平和推進事業を知っていますか。.....                                 | 14 |
| 問10 問9で「③特に参加したいと思わない」と回答した方に理由を伺います。.....                        | 16 |
| 問11 問9で「③特に参加したいと思わない」と回答した方に伺います。<br>今後どのようにすれば参加したいと思えますか。..... | 18 |
| 問12 どのような平和推進事業に参加してみたいですか。.....                                  | 20 |
| 問13 平和について次世代に引き継ぐためにどのようなことが大切だと思いますか。.....                      | 22 |
| 問14 若い世代に平和の大切さを考えてもらうための具体的アイデアはありますか。.....                      | 24 |



<令和5年度第1回調査 回答者の属性>

| 全体     |             | (人) |    |    | (%)  |
|--------|-------------|-----|----|----|------|
|        |             | 男性  | 女性 | 合計 | 回答割合 |
|        |             | 40  | 42 | 82 | 82.0 |
| 年代     | 18~29歳      | 6   | 8  | 14 | 70.0 |
|        | 30~39歳      | 8   | 9  | 17 | 85.0 |
|        | 40~49歳      | 9   | 8  | 17 | 85.0 |
|        | 50~59歳      | 6   | 10 | 16 | 80.0 |
|        | 60歳~        | 11  | 7  | 18 | 90.0 |
| 地域     | 北東部         | 5   | 11 | 16 | 72.7 |
|        | 中部          | 11  | 8  | 19 | 86.4 |
|        | 西部          | 13  | 7  | 20 | 90.9 |
|        | 南部          | 10  | 8  | 18 | 81.8 |
|        | 市外(市内在勤・在学) | 1   | 8  | 9  | 75.0 |
| 公募・無作為 | 公募          | 11  | 12 | 23 | 76.7 |
|        | 無作為         | 29  | 30 | 59 | 84.3 |

※年代・地域は令和4年5月時点の情報を反映しています。

- ・北東部…ひばりが丘北・北町・栄町・下保谷・東町・中町・富士町
- ・中部…北原町・泉町・住吉町・田無町・保谷町
- ・西部…緑町・谷戸町・ひばりが丘・西原町・芝久保町
- ・南部…南町・向台町・新町・柳沢・東伏見

<市政モニター登録者の属性>

| 全体     |             | (人) |    |     | (%)  |
|--------|-------------|-----|----|-----|------|
|        |             | 男性  | 女性 | 合計  | 割合   |
|        |             | 50  | 50 | 100 |      |
| 年代     | 18~29歳      | 9   | 11 | 20  | 20.0 |
|        | 30~39歳      | 8   | 12 | 20  | 20.0 |
|        | 40~49歳      | 10  | 10 | 20  | 20.0 |
|        | 50~59歳      | 10  | 10 | 20  | 20.0 |
|        | 60歳~        | 13  | 7  | 20  | 20.0 |
| 地域     | 北東部         | 8   | 14 | 22  | 22.0 |
|        | 中部          | 14  | 8  | 22  | 22.0 |
|        | 西部          | 13  | 9  | 22  | 22.0 |
|        | 南部          | 14  | 8  | 22  | 22.0 |
|        | 市外(市内在勤・在学) | 1   | 11 | 12  | 12.0 |
| 公募・無作為 | 公募          | 15  | 15 | 30  | 30.0 |
|        | 無作為         | 35  | 35 | 70  | 70.0 |

問1 日本と外国が戦争したことを知っていますか。

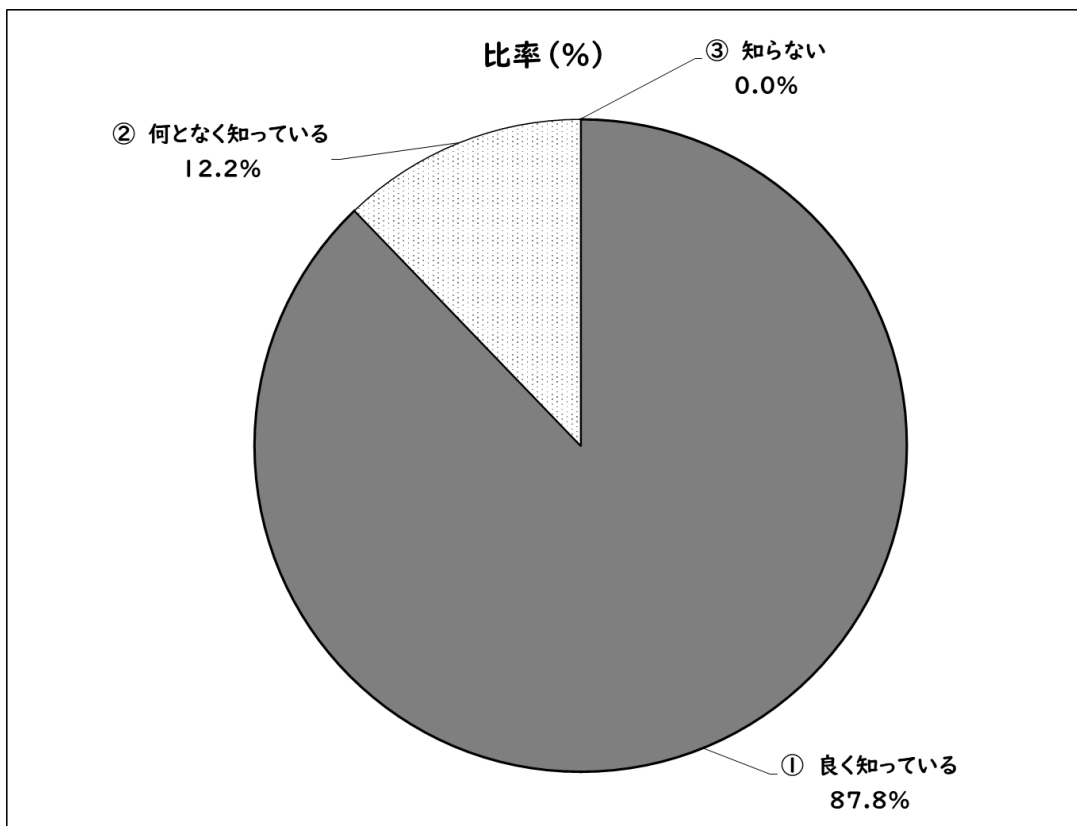
あてはまるものを1つ選択してください。

「良く知っている」が約9割を占める結果となりました。

回答者数(人)82

回答件数(件)82

| 項目          | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|-------------|--------|-------|----|
| ① 良く知っている   | 72     | 87.8  | 1  |
| ② 何となく知っている | 10     | 12.2  | 2  |
| ③ 知らない      | 0      | 0.0   | 3  |



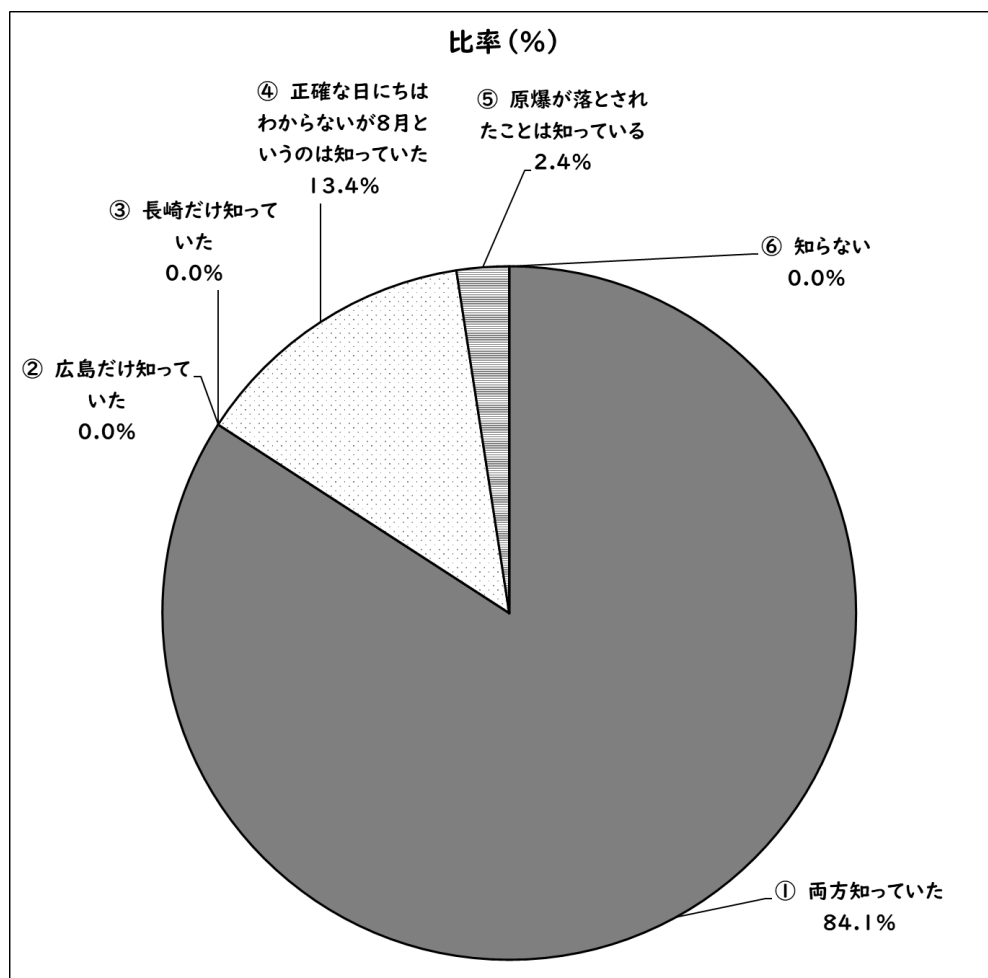
問2 広島(昭和20年8月6日)・長崎(昭和20年8月9日)に原子爆弾が落とされた日を知っていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「両方知っていた 69 件(84.1%)」が最も多く、次いで、「正確な日にはわからないが8月というのを知っていた 11 件(13.4%)」が多い結果となりました。  
 一方で、「広島だけ知っていた」「長崎だけ知っていた」「知らない」と答え方はいませんでした。

回答者数(人)82

回答件数(件)82

| 項目                         | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|----------------------------|--------|-------|----|
| ① 両方知っていた                  | 69     | 84.1  | 1  |
| ② 広島だけ知っていた                | 0      | 0.0   | 4  |
| ③ 長崎だけ知っていた                | 0      | 0.0   | 4  |
| ④ 正確な日にはわからないが8月というのを知っていた | 11     | 13.4  | 2  |
| ⑤ 原爆が落とされたことは知っている         | 2      | 2.4   | 3  |
| ⑥ 知らない                     | 0      | 0.0   | 4  |



問3 家族や友人と戦争や平和についての話をしますか。

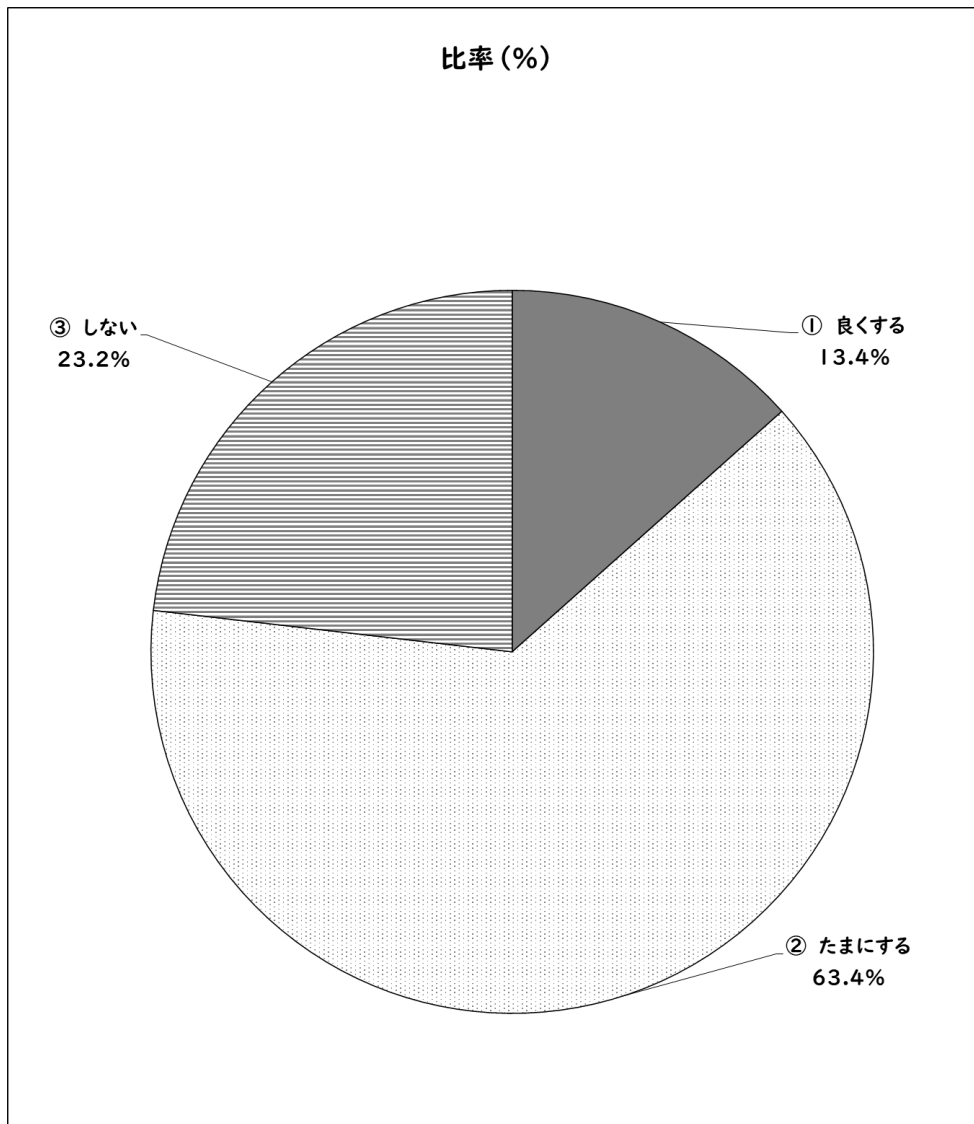
あてはまるものを1つ選択してください。

「たまにする 52 件(63.4%)」が最も多く、次いで、「しない 19 件(23.2%)」となり、「良くする 11 件(13.4%)」が最も少なくなりました。

回答者数(人)82

回答件数(件)82

| 項目      | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|---------|--------|-------|----|
| ① 良くする  | 11     | 13.4  | 3  |
| ② たまにする | 52     | 63.4  | 1  |
| ③ しない   | 19     | 23.2  | 2  |



## ■年代別の回答と回答比率

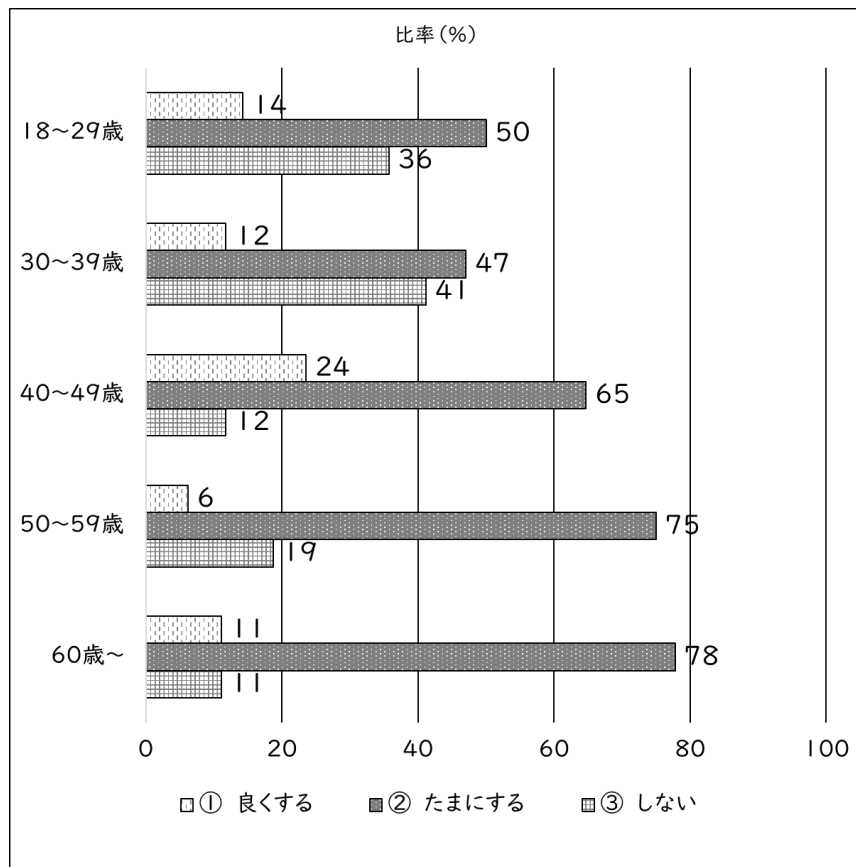
年代別でも、全世代において「たまにする」が最も多い結果となりました。  
また、30～39歳以外の世代の方々は、「良くする」・「たまにする」を選んだ方が、合わせて6割を超える結果となりました。

### <回答数(件)>

| 項目      | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ | 合計 |
|---------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| ① 良くする  | 2      | 2      | 4      | 1      | 2    | 11 |
| ② たまにする | 7      | 8      | 11     | 12     | 14   | 52 |
| ③ しない   | 5      | 7      | 2      | 3      | 2    | 19 |
| 合計      | 14     | 17     | 17     | 16     | 18   | 82 |

### <回答比率(%)>

| 項目      | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ |
|---------|--------|--------|--------|--------|------|
| ① 良くする  | 14     | 12     | 24     | 6      | 11   |
| ② たまにする | 50     | 47     | 65     | 75     | 78   |
| ③ しない   | 36     | 41     | 12     | 19     | 11   |



問4 戦争と平和についてどのような時に考えますか。

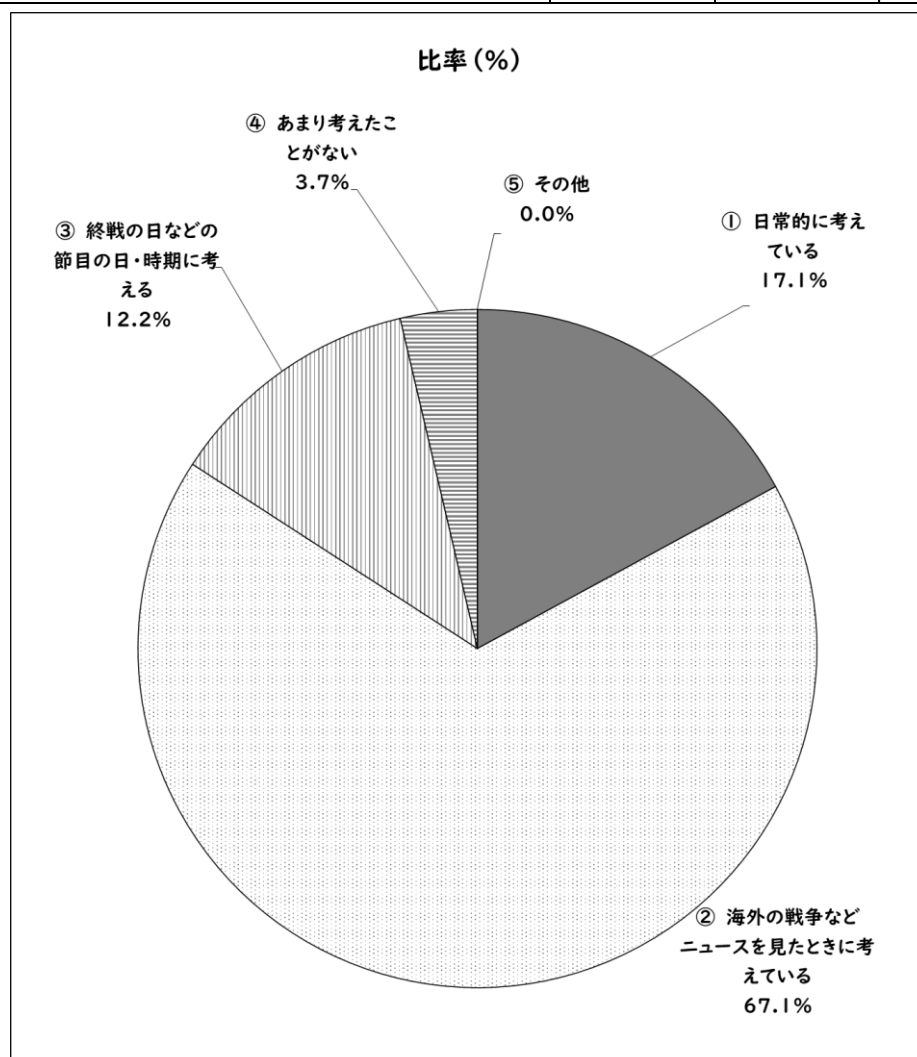
あてはまるものを1つ選択してください。

「海外の戦争などニュースを見たときに考えている 55 件(67.1%)」が最も多く、「日常的に考えている 14 件(17.1%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 82

回答件数(件) 82

| 項目                       | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|--------------------------|--------|-------|----|
| ① 日常的に考えている              | 14     | 17.1  | 2  |
| ② 海外の戦争などニュースを見たときに考えている | 55     | 67.1  | 1  |
| ③ 終戦の日などの節目の日・時期に考える     | 10     | 12.2  | 3  |
| ④ あまり考えたことがない            | 3      | 3.7   | 4  |
| ⑤ その他                    | 0      | 0.0   | 5  |





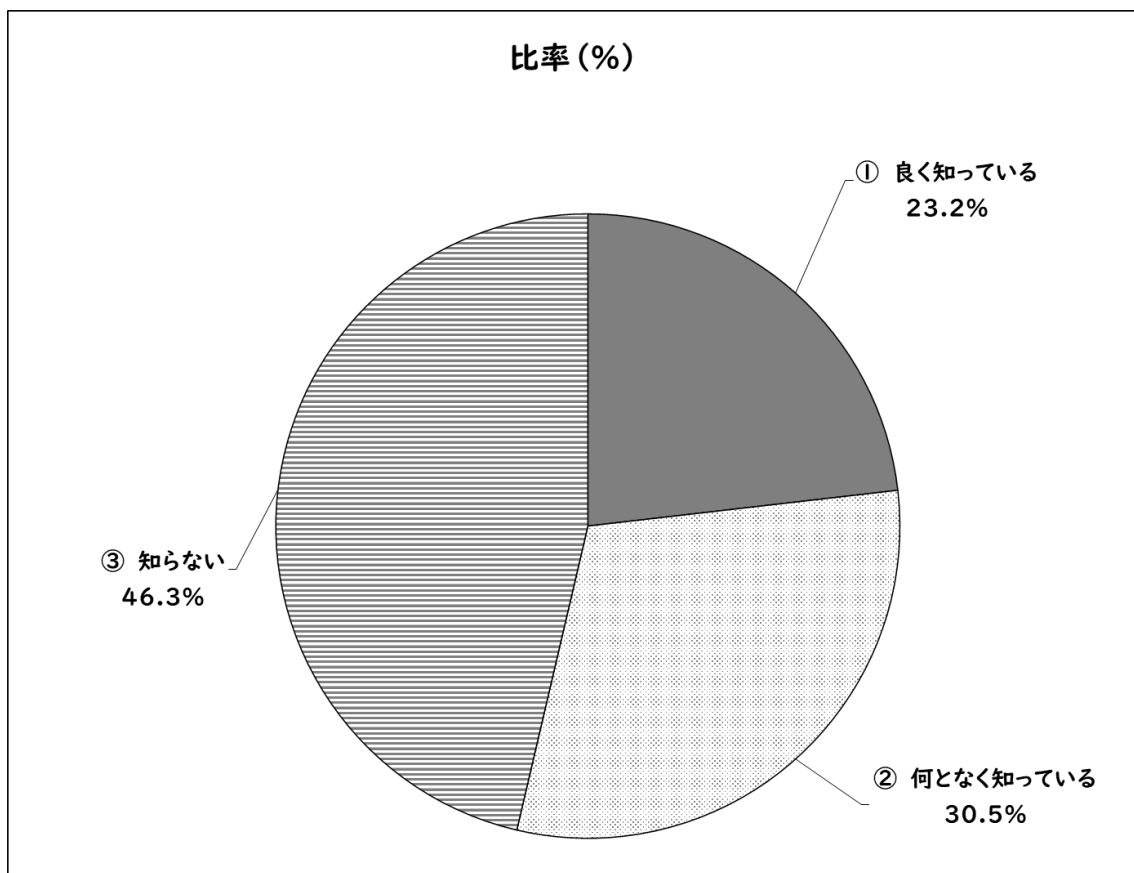
問5 西東京市も戦争により、被害があったことを知っていますか。  
あてはまるものを1つ選択してください。

「知らない 38 件(46.8%)」が最も多く、「何となく知っている 25 件(30.5%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人)82

回答件数(件)82

| 項目          | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|-------------|--------|-------|----|
| ① 良く知っている   | 19     | 23.2  | 3  |
| ② 何となく知っている | 25     | 30.5  | 2  |
| ③ 知らない      | 38     | 46.3  | 1  |



## ■年代別の回答と回答比率

年代別では、18～29歳、30～39歳、40～49歳で、「知らない」が最も多く、50～59歳では、「何となく知っている」が最も多い結果となりました。

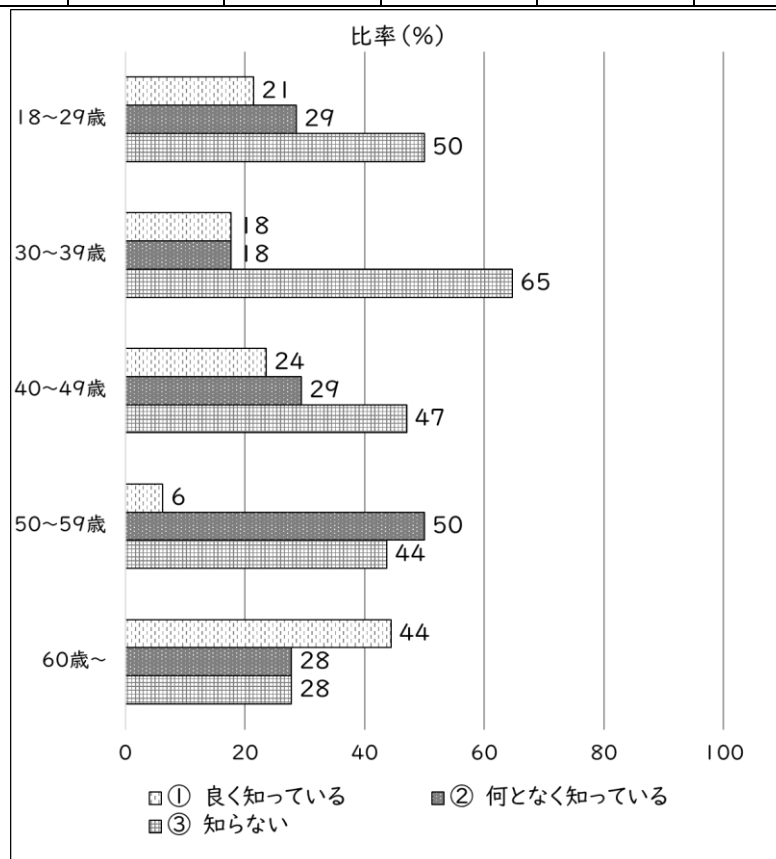
一方で、60歳以上においては、「良く知っている」が最も多い結果となり、年代が上がると、知っている方が多い傾向にあります。

### <回答数(件)>

| 項目          | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ | 合計 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| ① 良く知っている   | 3      | 3      | 4      | 1      | 8    | 19 |
| ② 何となく知っている | 4      | 3      | 5      | 8      | 5    | 25 |
| ③ 知らない      | 7      | 11     | 8      | 7      | 5    | 38 |
| 合計          | 14     | 17     | 17     | 16     | 18   | 82 |

### <回答比率(%)>

| 項目          | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ |
|-------------|--------|--------|--------|--------|------|
| ① 良く知っている   | 21     | 18     | 24     | 6      | 44   |
| ② 何となく知っている | 29     | 18     | 29     | 50     | 28   |
| ③ 知らない      | 50     | 65     | 47     | 44     | 28   |

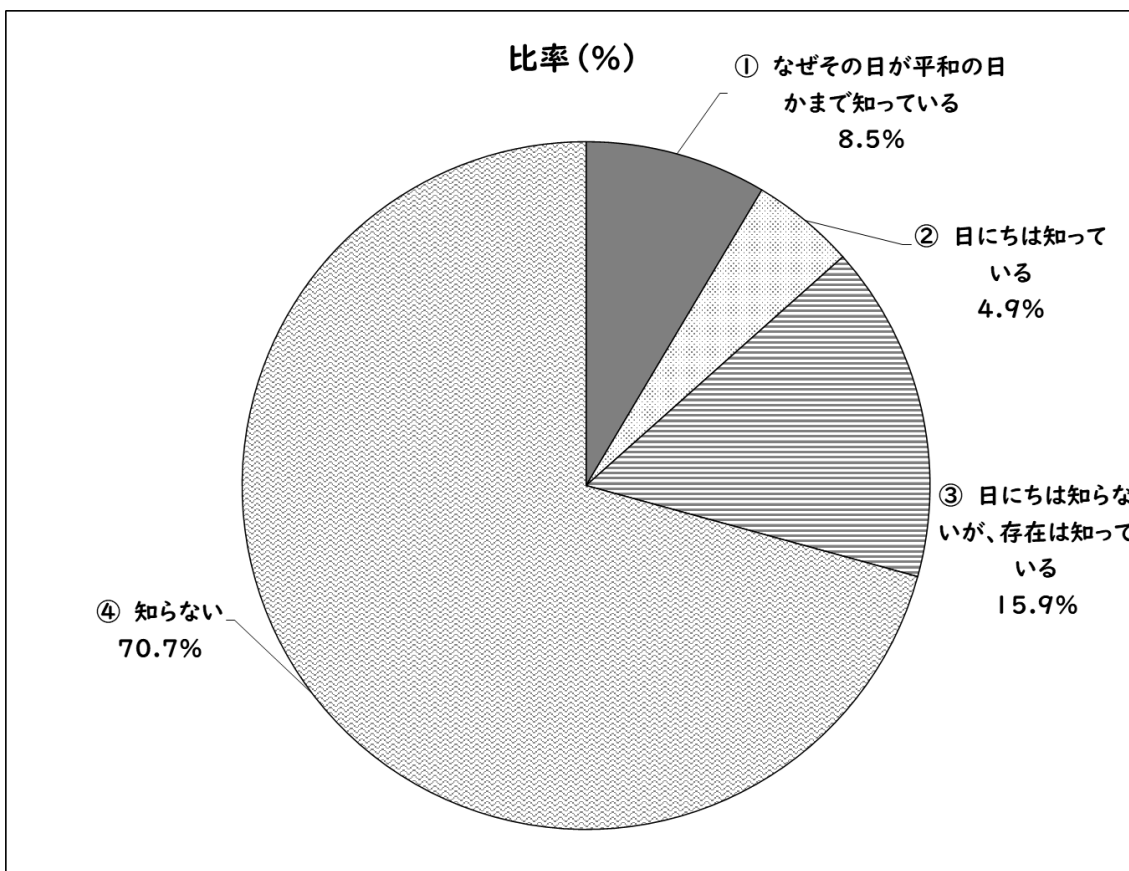


問6 4月12日が西東京平和の日であることを知っていますか。  
 あてはまるものを1つ選択してください。

「知らない 58 件 (70.7%)」が最も多く、「日にちは知らないが、存在は知っている 13 件 (15.9%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 82  
 回答件数(件) 82

| 項目                   | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|----------------------|--------|-------|----|
| ① なぜその日が平和の日かまで知っている | 7      | 8.5   | 3  |
| ② 日にちは知っている          | 4      | 4.9   | 4  |
| ③ 日にちは知らないが、存在は知っている | 13     | 15.9  | 2  |
| ④ 知らない               | 58     | 70.7  | 1  |



## ■年代別の回答と回答比率

年代別に見ても、全世代において、「知らない」が最も多い結果となりました。

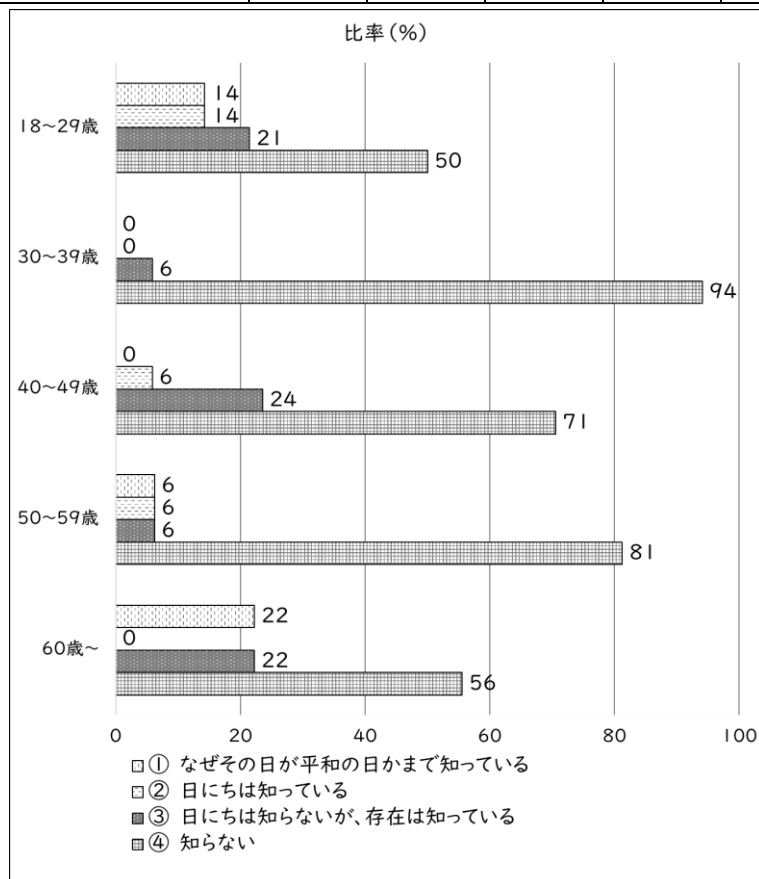
一方で、「知らない」と答えた人の年代別の割合を見ると、18～29歳が50%と最も少なく、30～39歳が94%と最も多い結果となりました。

### <回答数(件)>

| 項目                   | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ | 合計 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| ① なぜその日が平和の日かまで知っている | 2      | 0      | 0      | 1      | 4    | 7  |
| ② 日にちは知っている          | 2      | 0      | 1      | 1      | 0    | 4  |
| ③ 日にちは知らないが、存在は知っている | 3      | 1      | 4      | 1      | 4    | 13 |
| ④ 知らない               | 7      | 16     | 12     | 13     | 10   | 58 |
| 合計                   | 14     | 17     | 17     | 16     | 18   | 82 |

### <回答比率(%)>

| 項目                   | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|------|
| ① なぜその日が平和の日かまで知っている | 14     | 0      | 0      | 6      | 22   |
| ② 日にちは知っている          | 14     | 0      | 6      | 6      | 0    |
| ③ 日にちは知らないが、存在は知っている | 21     | 6      | 24     | 6      | 22   |
| ④ 知らない               | 50     | 94     | 71     | 81     | 56   |



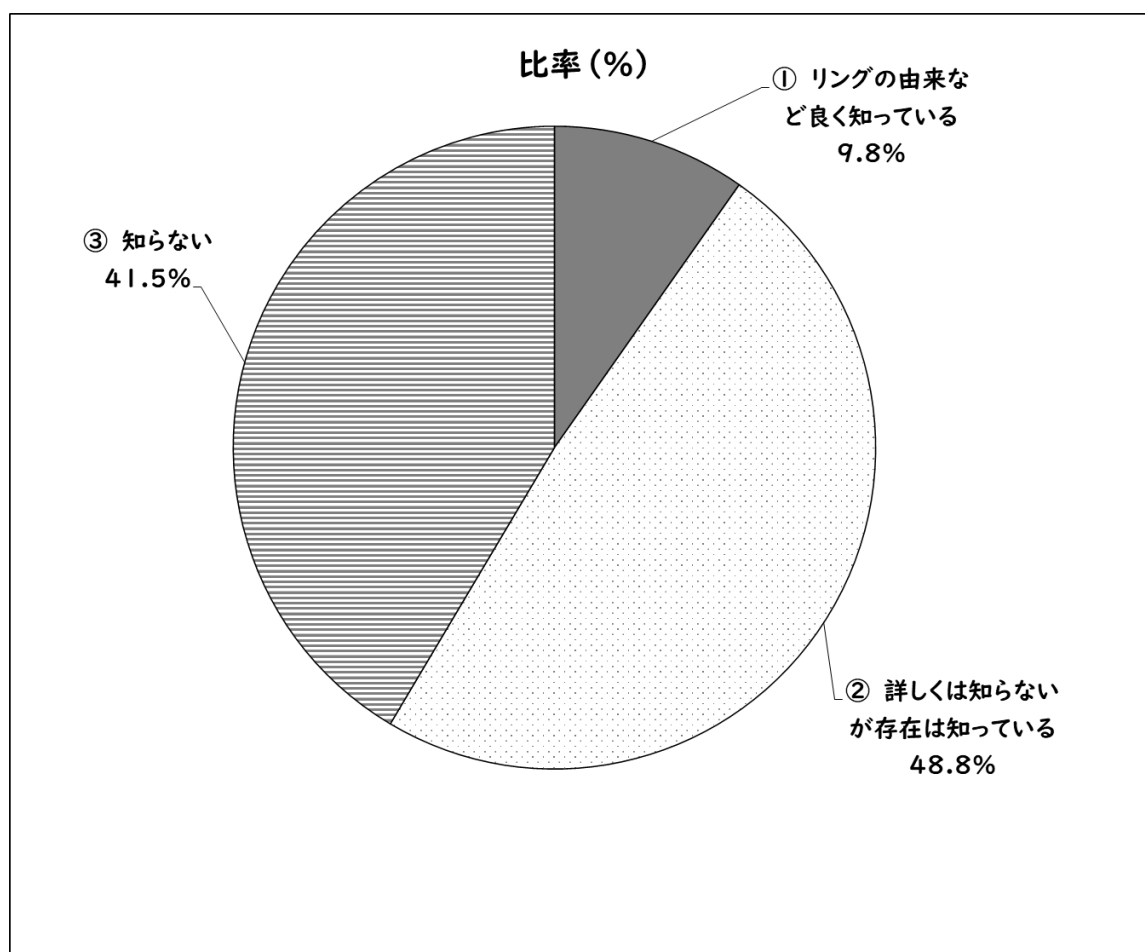
### 問 7 平和のリング(田無駅北口)を知っていますか。

「詳しくは知らないが存在は知っている 40 件(48.8%)」が最も多く、「知らない 34 件(41.5%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 82

回答件数(件) 82

| 項目                  | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|---------------------|--------|-------|----|
| ① リングの由来など良く知っている   | 8      | 9.8   | 3  |
| ② 詳しくは知らないが存在は知っている | 40     | 48.8  | 1  |
| ③ 知らない              | 34     | 41.5  | 2  |



問8 西東京市の「非核・平和都市宣言」を知っていますか。

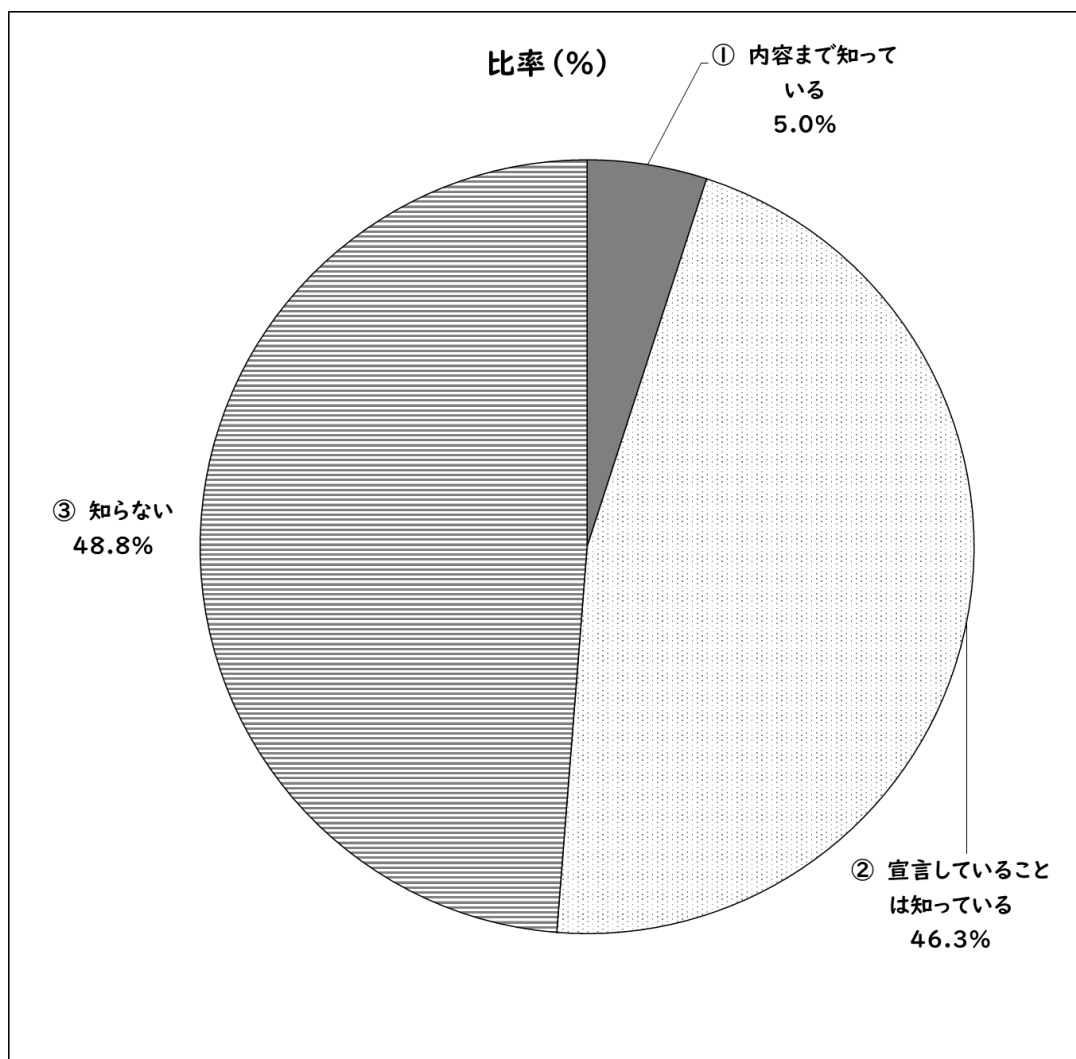
あてはまるものを1つ選択してください。

「知らない39件(48.8%)」が最も多く、「宣言していることは知っている37件(46.3%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人)80

回答件数(件)80

| 項目               | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|------------------|--------|-------|----|
| ① 内容まで知っている      | 4      | 5.0   | 3  |
| ② 宣言していることは知っている | 37     | 46.3  | 2  |
| ③ 知らない           | 39     | 48.8  | 1  |



■年代別の回答と回答比率

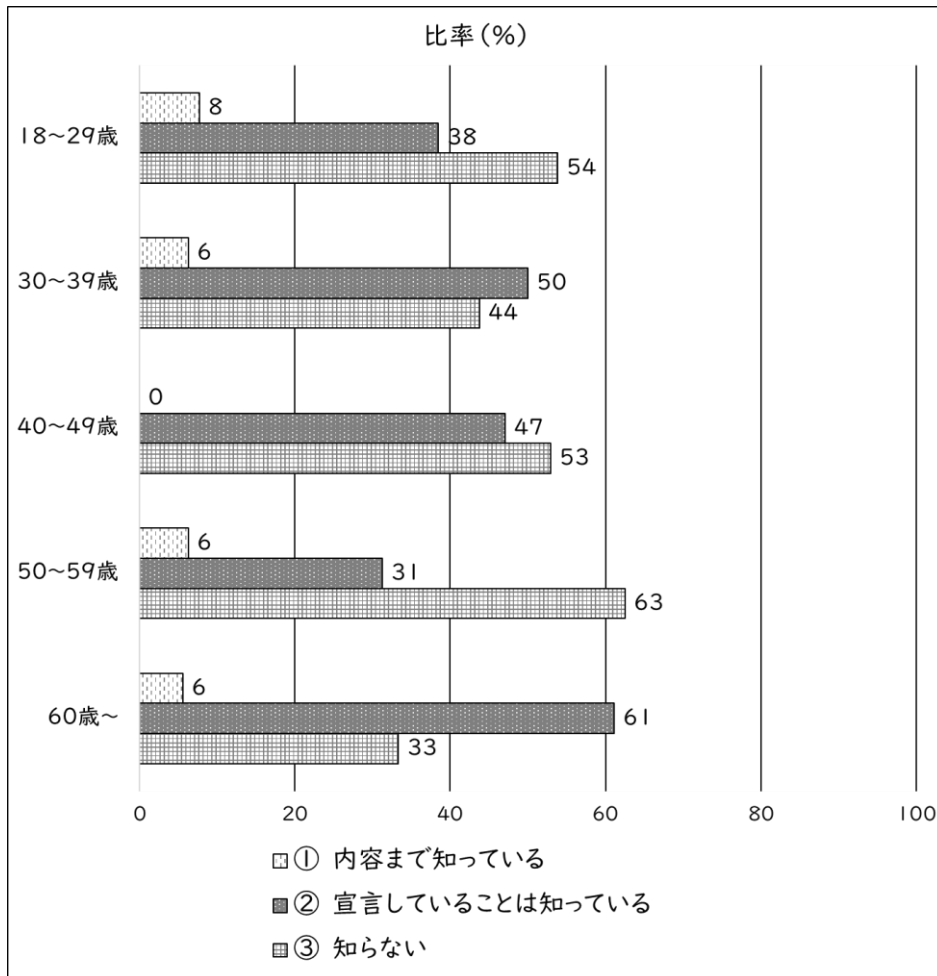
年代別では、18～29歳、40～49歳、50～59歳で「知らない」が最も多い結果となりました。  
また、30～39歳、60歳以上では「宣言していることは知っている」が最も多い結果となりました。

<回答数(件)>

| 項目               | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ | 合計 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| ① 内容まで知っている      | 1      | 1      | 0      | 1      | 1    | 4  |
| ② 宣言していることは知っている | 5      | 8      | 8      | 5      | 11   | 37 |
| ③ 知らない           | 7      | 7      | 9      | 10     | 6    | 39 |
| 合計               | 13     | 16     | 17     | 16     | 18   | 80 |

<回答比率(%)>

| 項目               | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60歳～ |
|------------------|--------|--------|--------|--------|------|
| ① 内容まで知っている      | 8      | 6      | 0      | 6      | 6    |
| ② 宣言していることは知っている | 38     | 50     | 47     | 31     | 61   |
| ③ 知らない           | 54     | 44     | 53     | 63     | 33   |



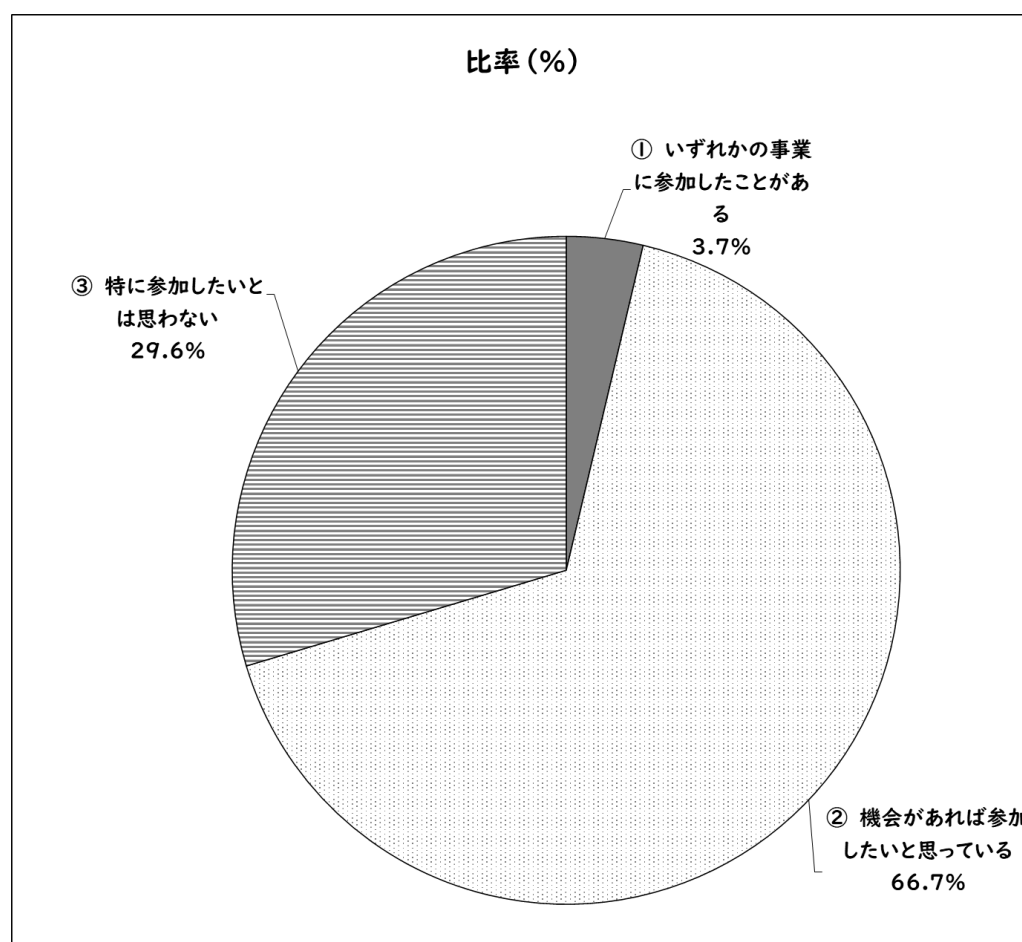
問9 西東京市で行っている平和推進事業(西東京市平和の日パネル展、広島平和の旅、夏休み平和映画会、ピースウォーク、平和学習会)を知っていますか。  
あてはまるものを1つ選択してください。

「機会があれば参加したいと思っている 54 件(66.7%)」が最も多く、「特に参加したいと思わない 24 件(29.6%)」が次に多い結果となりました。  
また、「いずれかの事業に参加したことがある」は 3 件(3.7%)でした。

回答者数(人) 81

回答件数(件) 81

| 項目                  | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|---------------------|--------|-------|----|
| ① いずれかの事業に参加したことがある | 3      | 3.7   | 3  |
| ② 機会があれば参加したいと思っている | 54     | 66.7  | 1  |
| ③ 特に参加したいと思わない      | 24     | 29.6  | 2  |



【参加したことがある事業】

- 西東京市平和の日パネル展 (2件)
- 西東京市映画祭の映画を見たときに西東京市が受けた戦争被害の映画



■年代別の回答と回答比率

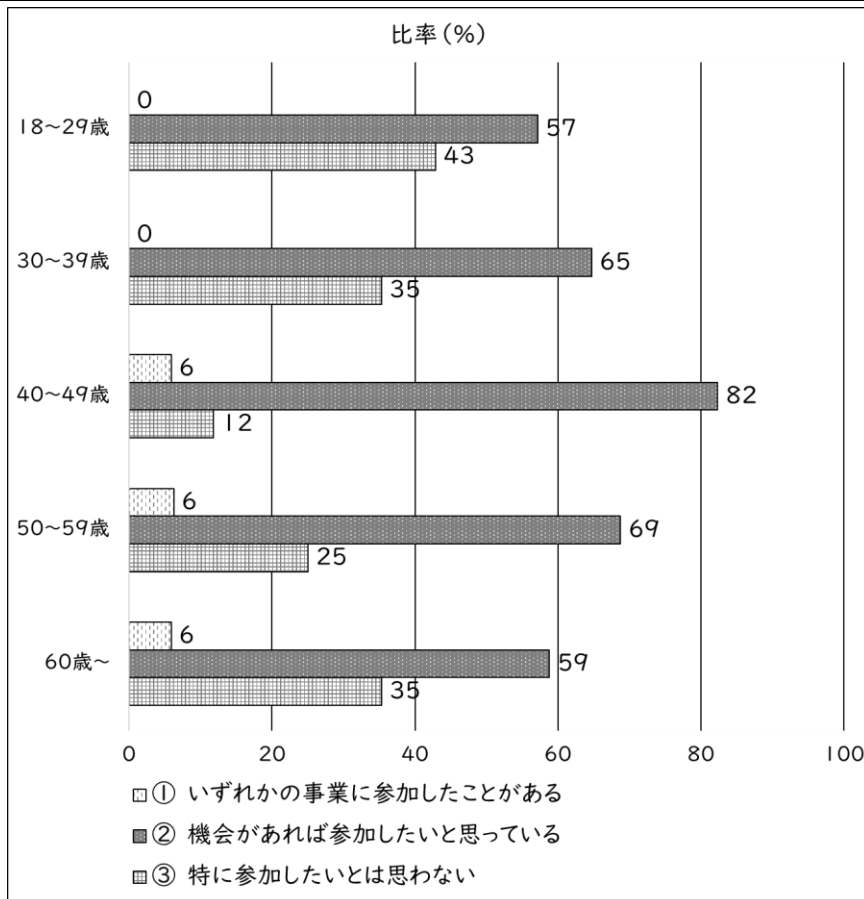
年代別に見ても、全年代において「機会があれば参加したいと思っている」が最も多い結果となりました。

<回答数(件)>

| 項目                  | 18~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ | 合計 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| ① いずれかの事業に参加したことがある | 0      | 0      | 1      | 1      | 1    | 3  |
| ② 機会があれば参加したいと思っている | 8      | 11     | 14     | 11     | 10   | 54 |
| ③ 特に参加したいとは思わない     | 6      | 6      | 2      | 4      | 6    | 24 |
| 合計                  | 14     | 17     | 17     | 16     | 17   | 81 |

<回答比率(%)>

| 項目                  | 18~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳~ |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|------|
| ① いずれかの事業に参加したことがある | 0      | 0      | 6      | 6      | 6    |
| ② 機会があれば参加したいと思っている | 57     | 65     | 82     | 69     | 59   |
| ③ 特に参加したいとは思わない     | 43     | 35     | 12     | 25     | 35   |

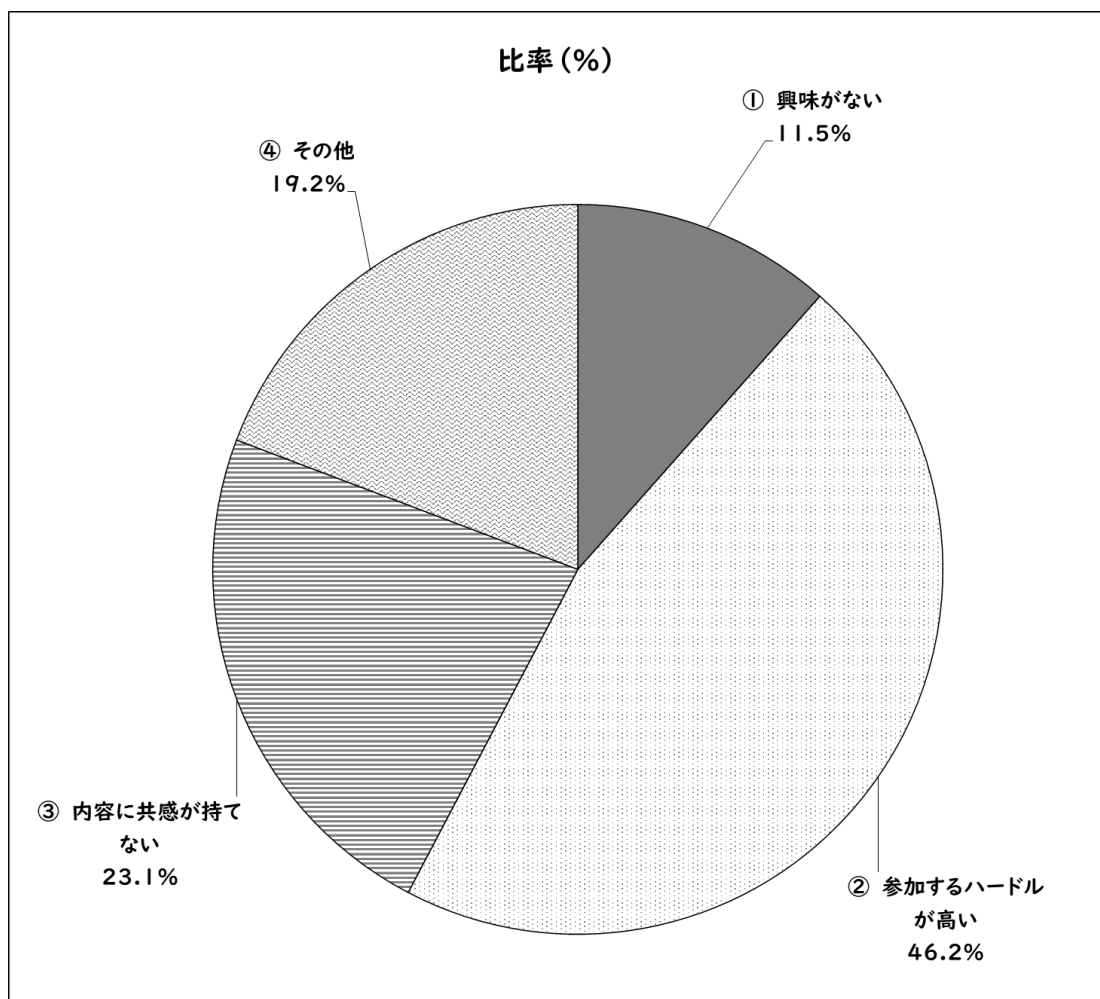


問 10 問9で「③特に参加したいと思わない」と回答した方にお伺いします。  
理由について最もあてはまるものを1つ選択してください。

「参加するハードルが高い 12 件 (46.2%)」が最も多く、「内容に共感が持てない 6 件 (23.1%)」が次に多い結果となりました。

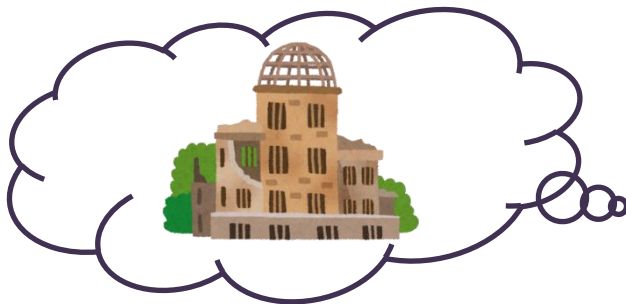
回答者数(人) 26  
回答件数(件) 26

| 項目            | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|---------------|--------|-------|----|
| ① 興味がない       | 3      | 11.5  | 4  |
| ② 参加するハードルが高い | 12     | 46.2  | 1  |
| ③ 内容に共感が持てない  | 6      | 23.1  | 2  |
| ④ その他         | 5      | 19.2  | 3  |



### 【その他のご意見】

- どういう事をするのか具体的な事がわからないため、どちらともいえない。
- イベントの内容が趣旨含めよく分からない。興味以前の話。
- 主催者の内容によって判断したいことと、主旨が理解できるなら参加しても良いが、一部の市民だけが参加するような活動は西東京市市民の多くに知れることがすくないでしょう。
- 体調によって確約できないのと仕事(勤務)を休めないのも多分こう思います。
- 日常のニュースや新聞等と考えている



問 11 問9で「③特に参加したいと思わない」と回答した方にお伺いします。

今後どのようにすれば参加したいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

#### <学校教育について>

- 家族向けであれば、子供が興味を持ちやすい、もしくは子供の教育において有意義であると思わせる工夫が必要。
- 小学校・中学校の修学旅行などに組み入れるなどはどうでしょうか？  
市職員の方々が積極的に主となり度々交代制でよいので企画実行する。
- 平和推進事業に参加することも大事ですが、それよりも過去から現在、未来へつながる歴史を後世に伝える教育(学校教育)で平和学習をしっかりするべきだと思います。

#### <広報について>

- 他の事業などにも言えるが、今市が何を行っているのかの広報活動が弱いと思うので実際にどのような人が参加し、目的や活動内容等がみえづらい。  
HPも最新の情報がわかりづらいので、知らせる手立てを変えたらよいと思います。
- 平和推進事業があることを知らなかったので、参加について考えたことがありませんでした。どのような事業があるのかが周知がされて、その事業に興味をわいて、参加することに意味があると思えば参加を検討すると思います。
- 広く情報を発信すること
- 平和推進事業の活動内容と、目的の明確さを市民により分かり易く広報活動で知らせること。
- そもそもどんな事業かが分からないため、もっと宣伝したほうがよいと思う。
- 市報等のみでの告知では若い世代はそもそもこういったイベントがあるということすら知る機会がない。市の施設の掲示板に告知をするのも、意味はあるが役所等に用事のある人間のみなので効果は限定的。駅構内での広告や商業施設での屋内外の広告など、日々の生活動線の中にある場所で継続的に告知をし、徐々に興味を醸成する必要がある。そういった場で過去のイベントの様子などを魅力的な形で発信できると良い。
- 平和を願うことは誰しも当たり前であり、ことさら、行政が一義的な平和の思考をイベントを企画し市民に押し付けるべきでは無いと考えるため、基本的の不要と考えている。  
史実を正確に伝えるための情報発信を主軸に考えるべき。
- 具体的な内容の告知(広報特集号)ハナバスでのPR 終戦記念日に合わせて

#### <イベントの参加方法について>

- 子供の通学する学校の行事と合わせたり、市のスポーツ団体の活動の一環として共同で参加するなら、敷居が低くなると思う。
- 参加しやすいような内容及び興味を引くようにする。  
学校の行事のひとつとして運営する。

- 若者向けであれば、彼らに人気のある著名人を参加させるなど、興味を持つきっかけとなるような要素がないとかなり参加ハードルが高い。
- 子供が小さいので託児サービスがあったり、イベントの隣に子供向けのイベントもあったら参加したいと思う。
- 自宅でも見られる冊子や LINE ホームページでの動画配信であれば各自に合わせられると思います。

#### <イベントの内容について>

- 内容がつまらなそうだから
- 何か貰える
- 学習会などに参加をするとなるとハードルが高く感じてしまうため、セミナー等の開催というよりは、普段目につくような場所へそのような展示があれば見る機会・考える機会が増えると思います。  
例:エレベーターやエスカレーターの壁など
- 秋の「国際反戦デー」に市後援で田無&ひばり両駅ロータリーでイベント開催する。

#### <心情について>

- 周りに戦争経験者がいないので実感がない
- 暗い気持ちになるので。
- 「平和推進」という語に違和感を覚える。  
広島市原爆死没者への追悼など、毎年必ず「平和」について、その尊さを再認識する機会は与えられている。  
「日本人は平和ボケしている。もっとしっかりしなければならない。」という会であれば理解共感できるが、今の「もっと平和にしましょう」という会には、あまり共感が持てない。

問 12 どのような平和推進事業に参加してみたいですか。

あてはまるものを3つまで選択してください。

「夏休み平和映画会などの映画会 32 件(39.5%)」が最も多く、「資料展・パネル展示など、展示型の事業 31 件(38.3%)」が次いで多く、「ミニコンサートなど、音楽に関わる事業 23 件(28.4%)」が3つ目に多い結果となりました。

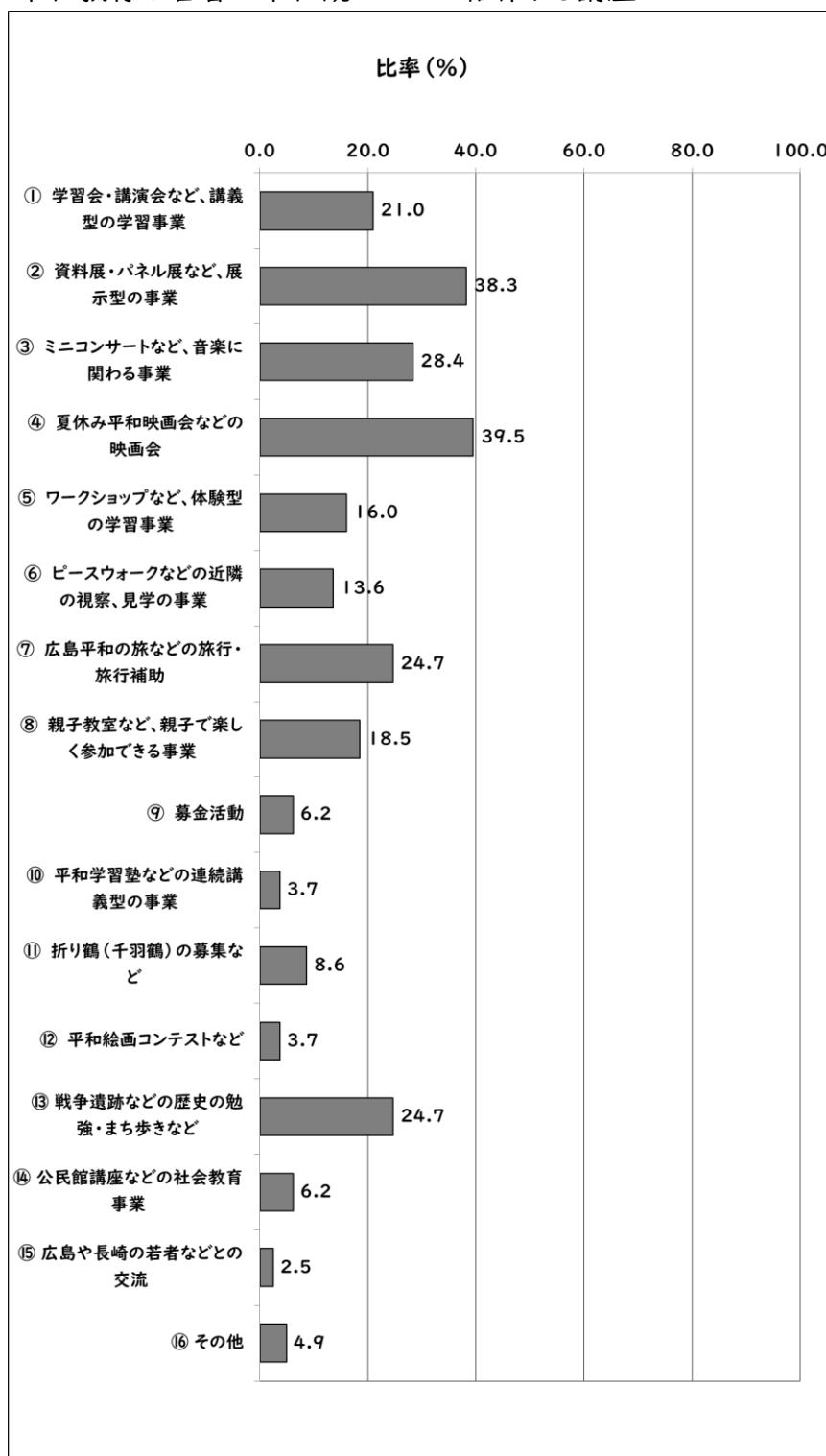
回答者数(人) 81

回答件数(件) 211

| 項目                      | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|-------------------------|--------|-------|----|
| ① 学習会・講演会など、講義型の学習事業    | 17     | 21.0  | 6  |
| ② 資料展・パネル展など、展示型の事業     | 31     | 38.3  | 2  |
| ③ ミニコンサートなど、音楽に関わる事業    | 23     | 28.4  | 3  |
| ④ 夏休み平和映画会などの映画会        | 32     | 39.5  | 1  |
| ⑤ ワークショップなど、体験型の学習事業    | 13     | 16.0  | 8  |
| ⑥ ピースウォークなどの近隣の視察、見学の事業 | 11     | 13.6  | 9  |
| ⑦ 広島平和の旅などの旅行・旅行補助      | 20     | 24.7  | 4  |
| ⑧ 親子教室など、親子で楽しく参加できる事業  | 15     | 18.5  | 7  |
| ⑨ 募金活動                  | 5      | 6.2   | 11 |
| ⑩ 平和学習塾などの連続講義型の事業      | 3      | 3.7   | 14 |
| ⑪ 折り鶴(千羽鶴)の募集など         | 7      | 8.6   | 10 |
| ⑫ 平和絵画コンテストなど           | 3      | 3.7   | 14 |
| ⑬ 戦争遺跡などの歴史の勉強・まち歩きなど   | 20     | 24.7  | 4  |
| ⑭ 公民館講座などの社会教育事業        | 5      | 6.2   | 11 |
| ⑮ 広島や長崎の若者などとの交流        | 2      | 2.5   | 16 |
| ⑯ その他                   | 4      | 4.9   | 13 |

### 【その他のご意見】

- 小学校などに短編映画の上映や、戦争の話をもっと導入するべきだと思います。参加してみたいのレベルではなく、もう少し学校側と協力をして、必ず半年に1回は戦争についての教育を入れていくべきだと思います。  
資料展・パネル展など展示型を見に行く親子は、正直今の時代いないと思います。授業に盛り込まないとどんどん平和教育は風化していくと感じています。
- 若者に「日本と世界の平和の違い」について教える会（その他に該当なし）
- テレビやネットメディアに出演する専門家による講演会
- 海外の平和教育や若者の平和観について紹介する講座



問13 平和について次世代に引き継ぐためにどのようなことが大切だと思いますか。  
あてはまるものを3つまで選択してください。

「学校での平和教育 50 件(62.5%)」が最も多く、「戦争に関する体験談等の記録 37 件(46.3%)」が次いで多く、「戦争に関する資料の収集・展示 36 件(45.0%)」が3つ目に多い結果となりました。

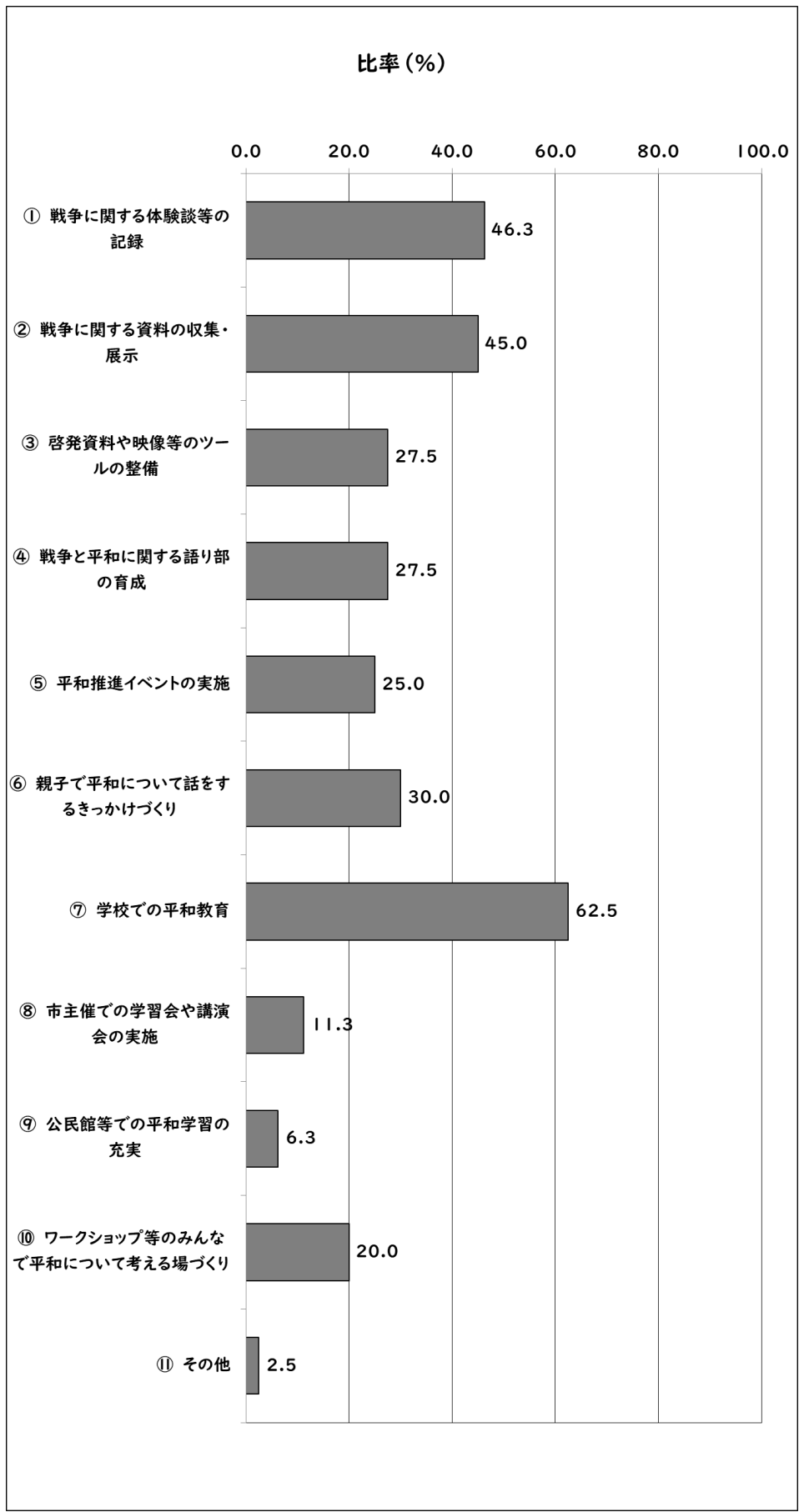
回答者数(人) 80

| 項目                           | 回答数(件) | 比率(%) | 順位 |
|------------------------------|--------|-------|----|
| ① 戦争に関する体験談等の記録              | 37     | 46.3  | 2  |
| ② 戦争に関する資料の収集・展示             | 36     | 45.0  | 3  |
| ③ 啓発資料や映像等のツールの整備            | 22     | 27.5  | 5  |
| ④ 戦争と平和に関する語り部の育成            | 22     | 27.5  | 5  |
| ⑤ 平和推進イベントの実施                | 20     | 25.0  | 7  |
| ⑥ 親子で平和について話をするきっかけづくり       | 24     | 30.0  | 4  |
| ⑦ 学校での平和教育                   | 50     | 62.5  | 1  |
| ⑧ 市主催での学習会や講演会の実施            | 9      | 11.3  | 9  |
| ⑨ 公民館等での平和学習の充実              | 5      | 6.3   | 10 |
| ⑩ ワークショップ等のみんなで平和について考える場づくり | 16     | 20.0  | 8  |
| ⑪ その他                        | 2      | 2.5   | 11 |

**【その他のご意見】**

- 「引き継ぐ」のではなくその時代にあった平和教育に常にアップデートしていく





#### 問14 若い世代に平和の大切さを考えてもらうための具体的アイデアはありますか。

##### <学校教育について>

- 自主的に参加を求めるものは、ハードルが高かったり関わる機会が無いと難しいため、学校での授業や授業の一環としてのイベント等で取り入れていくのがいいのではと思います
- やはり学校教育の一環として、戦争の怖さ、平和は当たり前ではないことを教えていくことが大切だと思っています。  
私も中学(市立でしたが…)・高校で授業で戦争の事実をおそわり、実際広島長崎沖縄と行く機会のきっかけとなりました。今でも授業の記憶は覚えていますし、しっかりと教えてくれた先生にはとても感謝しています。
- 「この世界の片隅に」や「火垂るの墓」などの映画を学校等で視聴する機会を設ける。
- 西東京市内に今も残っている戦争の遺物(柳沢にある爆弾、中央公園の零戦工場、米軍飛行機で攻撃された墓石等)の見学、説明会等を学校単位で開催。
- 学校の授業の中で行ってもらったり、講演してもらう
- 現在も実施されていることと思いますが、学校教育の中に講演会やワークショップ等を取り入れて、繰り返し考えるきっかけづくりをしていくこと。夏休みの課題などで、学年に応じて家族を巻き込む内容のテーマを設定して、機会を作る。
- 平和を当たり前だと思わずに、戦争時代のことをもっと授業で学ばせる。
- 学校での平和教育を充実させる(語り部さんの話を聞く、平和に関する映画を見る、戦争について調べてポスターを作る等)
- 正直に言って、市民に能動的に平和に対して考えてもらうことは不可能かと思います。※親世代が無関心だから、そもそも戦争や平和に対する知識がないからです。「次世代」という点では、小学校教育と中学校教育のプログラムで強制的に扱えないと思います。  
例えば、感想文コンテストグループ・ディスカッションやアクティブラーニング、中学校代表でプレゼンなど。とにかく戦争や平和に対して考えてもらうこと、それをアウトプットさせることが重要だと思います。その前提として何よりも、中学校の社会科で正しい歴史を理解してもらうことが大切だと思います。→正しい歴史=教科書に書いてある(党派性のない)歴史について、ほとんどの若い人は理解していないと感じる部分があります。
- 小中学校での平和学習
- 小中高校生に標語を考えてもらう
- 小学校の「自分のまちについて学ぶ」授業等で戦争をテーマとした映画を見せ、小学校付近に戦争に関する道具等を展示する。
- 例えば小学校や中学校の授業にて、海外の同世代ないしは近い世代の戦争体験者から直接話を聞く機会を作る等で、自身と重ねて戦争の大変さを感じてもらう。
- 中学生の修学旅行が広島で、小学生でも千鳥ヶ淵に行き、戦争を体験している校

長先生から話を聞きました。学校教育で必ず実施してほしいです。西東京市の被害についても例えば、当時武蔵野女子学院の生徒が中島飛行機に動員され多数亡くなったことや保谷第二小学校が臨時の病院になったことなど学ぶ機会があると身近に感じると思います。私は上記のことを学校で学びました。

- 原爆の日などのときに小中学校の道德の授業で「戦争と平和」をテーマに授業する。内容は全体論、西東京市の被害状況や体験者の話し等。
- 「子ども世界平和サミット」の様な会議の場を継続的に開催すべき。  
学校での授業に取り込んで戦争・平和について生徒に考えさせる。(年2回程度は行うべき)  
事なかれタイプの若年層への啓もうを考えていく必要性は高い。
- 日々、生活していると戦争の事を忘れてしまうから、学校教育にと入れてほしいですね!

#### <きっかけづくりについて>

- 私はゼミの教授に勧められて靖国神社の遊就館に訪れたことがきっかけで日本の戦争についてさらに知らなければならぬ、世界情勢を確認しなければいけないと思うようになりました。社会の授業の数時間で教科書をパラパラと読んでも戦争は悪いという漠然とした気持ちしか持てないと思います。まずは動画や絵本など触れやすい媒体で過去にこんなことがあったのだと伝えることが必要ではないでしょうか。戦争や平和について考える小さなきっかけがあれば自ずと戦争について調べる人は増えると思います。
- ゲームや漫画で戦争の悲惨さを伝え、平和を維持していくにはどうしたら良いか考えよう。  
話は聞かなくても目に見える機会があれば自ずと考える機会になるのではないか。
- 自分の子供が小さいので、そういう小さい子どもにもなんとなくわかってもらえたり、少しでも平和や戦争、争いについて考えてもらえるような体験や資料があると良いと思います。

#### <知識・学びについて>

- 「日本国」・「西東京市」にどんな事が起きたか、「日本国」・「西東京市」はどんな事をしたのかをよく知った上で現在起こっているウクライナvsロシアの戦いをどう思うか。親日的国家・そうでない国家を考えてみるのはいかがでしょうか。
- 第二次大戦の犠牲者の多くが、若い世代であったことを知る機会を増やすべきと考えます
- 普段の日常生活、人の命がうばわれるのが戦争だと思います。私も戦後生まれですが、平和が大事だということはわかります。平和を維持する上で今の憲法がよりどころになっていることを市民に知らせることが必要ではないでしょうか。市役所の施策も元は、日本国憲法が大本になっているはずですが。(地方自治法、納税の義務など)

## <広報について>

- 短編のアニメーションを作る。→学校などでも放映、
  - ・超短編のアニメーションもしくは動画で、西東京市のHPにのせる。
  - ・学校教育の行事として親子参加できるものを企画する。
  - ・絵本などで保育園などで読み聞かせとして行事化してもらう。
- 4月12日が西東京市平和の日を知らせていたが、このような日があるのであれば、この日をもっと市民に知ってもらうことが必要と考えます。4月12日に人の集まる駅において、誰でも足を止めるようなインパクトの強い広報など。
- 動画作成
- 若い世代というくり方の年代層の違いに応じて、教育の場での平和推進や、市民のZ世代やそれ以外の世代の時に合わせた催しや広報活動で、市民の各年代層に西東京市が「非核・平和都市宣言」都市であることの広報活動をする事などのほか、私も知らなかった、旧中島飛行機製作所跡地の詳しい説明などが、跡地の公園の場へ行くことが無い市民の方や、市内の小中学校などのほか、高校などの教育の場で知らせる機会があれば良いと思います。
- 最近の外国での戦争の被害について何らかの形で伝える
- 戦争をしている国の国民の生活模様を知っていくことで自分たちの生活が平和の上にあることを感じられるような活動があればと思います。
- SNSで発信する
- ・被害の恐ろしさをパネルなどで伝える
  - ・戦争による悪影響について考える(物資不足、食料危機、人命損失)
  - ・プレゼンなどコンクール
  - ・映像などの放映
  - ・標語など募集
  - ・ウクライナなどへの支援(募金活動、応援メッセージ)
- 市報はなかなか読んでもらえないし、公民館等の事業も周知が難しいから、やはり小・中学校で、授業の時間に語り部が話したり、映像を見せたりすることが良いかもしれません。  
または駅で待ち合わせをしている人たちや駅を使用する人に向けて、鉄道会社に依頼しホームや改札付近に資料を展示してもらうとか。
- 若者が良く利用をするYouTubeやTikTokなどでそのような動画があれば見る機会が増え考える時間にもなると思います。
- 平和と戦争に関する講演会を行う。

## <イベントについて>

- 実際に自分達が経験しないとわからないこともあると思うので、体験型のワークショップなどがよいのではないかと思います。  
今、日本がどこかと戦争が起きそうだ!という仮定をもとにシミュレーションしていたりなど。ウクライナ、ロシアの現状も含めて解説があるとより理解が深まるのではないのでしょうか。

- 日本が受けた被害の話は良く機会がありますが。戦争のきっかけ、お互い国の思いの食い違い、どうやったら戦争を防げたのかのような話はあまり聞かないような気がします。  
これらをどこかで伝える場がほしいです。平和祭りのような催しがあるといいと思います。SDGs や LGBTQ などの少数派も含めて西東京市から平和にしていってお祭りがあるといいと思います。
- 学校や保育園などの場で、戦争を知る世代と若い世代が交流できる会やイベントなどがある良いのでは。
- いこいの森公園でのイベントに西東京市も戦争の被害にあった話や、語り部の話を聞けば多くの人が驚き平和に関する考えを親から子に話す機会になると思う。  
今はウクライナや台湾等の話もあり子供に話が出来るといい機会になると思います。  
西東京市に移転してきて5年ほどだが、いこいの森公園でのイベントに展示パネルを置くだけでも違うと感じる。
- 必ず参加するイベントをつくる。そこで平和に対する内容を共有することが大切と考えます。
- ・若い世代にとって「市の平和推進事業」と聞くと「説教くさい」「古くさい」「つまらない」というようなネガティブなイメージが湧いてしまうと思う。もちろん意識高く参加する層も存在するが、若い世代の中でもどんな人に対して送りたい事業なのかを考えて企画するべきだと感じる。例えば西東京市に一人暮らしをしている地方出身の男性がターゲットだとすると、既存の事業に一人で参加するのは初期ハードルがかなり高いと思われるので本当にその層を取り入れるのであれば、かなりの工夫が必要。参加すると実利があったり、普段の生活の中で違和感なく参加できるような気軽さがある必要がある。  
・若い世代が「平和の大切さ」を考えていないというわけではないと思う。平和は大切だという意識はある。それがその上の世代とどう違うのか？具体的にどのように「平和の大切さ」を考えてもらい、どのような意識を持ってもらうことがゴールなのかをイメージできると企画につながると思うので、西東京市としてのゴールをまずは決める必要がある。(ただ、これをうまくできている自治体というのはあまり聞いたことがなく、言ったものの大変そう)
- 広島・長崎は有名ですが身近な方々の小さな体験の話を聞くのもよいと思う。例えば日常生活の中の一つ一つ、ライフラインがどうなるどうなっていたのかとか学校での学習がこうだったなど。実生活に連がる話しは自分に置き換え易いと思います。例えば市で1時間停電の日とか、断水の日とか、負担の少ない時間で体験してみるとというのは自分の意志ではない所で起きてしまう理不尽を感じるのではないかと思います。実行するには難題が多いかもしれないですが。
- 原爆ドーム等の戦争資料館への修学旅行。映像だけではすぐに忘れてしまう  
実際に見て肌で感じると強烈に印象に残る為、何度も思い出すし、戦争への意識も高まると思う。実際に私がそうでした
- 戦争の悲惨さを知ってもらうにもショッキングな映像を見せて印象を付けさせる

### <語り継ぐことの大切さについて>

- 若い世代に平和とは、今の時代的に戦争よりも我が身の生き方が1番で戦争の事を引き継ぐのは、大事だと思います。戦争経験者の声も大事。
- 戦争体験の語り部の方に若い世代の方々に分かりやすくお話をしていただきたいです。
- だんだん数が少なくなってきた、体験をした人達の、当時の話を撮り、本人目線の生々しい話や日常での話を、映像で若い子達に見せる(学校等で)。私の父も、小さかった頃の当時の話を時々してくれました。体験談は、戦争を知らない世代にも響きやすいと思います。
- 私は幼い頃に母から空襲の実体験などを聞かされており、やはりそのことは今でもはっきり覚えているので、幼少期からそのような機会を持たせることだと思います。何か特別なイベントで無理に考えさせるのではなく、身近な人に起こったこととして心に感じてもらうことが大切だと思います。戦争体験者が高齢化する今日、少しでもそうした本物の体験談が残せるようにしてほしいです。  
また、西東京市がこのように平和推進事業に関わっているとは、ほとんど知らなかったです。

### <現在の戦争経験者との交流について>

- 戦争難民の受け入れ支援を行なって、交流会等を実施
- 現代の戦争を経験されている方々(ウクライナや紛争地帯からの移民・難民)と、子ども達が接する機会があるといいと思います。
- 現在、ウクライナから避難していらっしゃる方が西東京市にもいらっしゃいます。その方々から、お話をきける機会があれば良いかなと思います。田無でウクライナのボルシチ(避難していらっしゃった方が作った)を購入したことがあります。
- ミャンマーやウクライナなどの戦争のニュースや被害者の話などを通して戦争を自分事としてとらえられるようになればと思います。
- 現在西東京市に戦争で避難している人に学校等公共施設で講演、両国のニュース映像見て自分たちの意見交換する

### <その他>

- 特になし(3件)
- 個人では、戦争をどうにか解決すること等不可能だが、個人が集団となった時に初めて守れる物があるのだと言う事実を、実例を交えて、また身近な物事(SNS、インターネットが停止する場合もある、等)に引き付けて語ると、効果は多少あると思う。興味が無い人へ興味を向けさせることは出来ないが、必死に訴える人の意見を完全に無視できる人は少ないだろうから、当事者、それこそウクライナの被災者のインタビューも有効だろう。  
戦争とは、国民の誰かが実行したいと考えても起こせるものではなく、必ず政治的

決断が必要となることを伝え、よく考えて選挙に行くことを、継続して訴えることが良いと思う。現状、そして未来のこの国を考えることが、戦争を起こさない国造りひいては、平和へ繋がっていくことだと思う。簡単に言うと、世界の中でのこの国の立ち位置を知ることが、戦争や平和を知る一歩になる。

- 情報化社会の中で対岸の火事のようにならないよう、日ごろから平和を考える機会を持つことが大事だと思います。  
質問に「若い世代」とありましたので、若い世代にずっと入ってくる取り組みを考えますと、①西東京市のキャラクターに平和の象徴的なキャラを作り、インスタのストーリーで歴史解説をする(いこいーなのように、キャラはシンエイ動画さんをお願いする)②西東京市の平和をテーマにした漫画を作成する。③西東京市の平和キャラ(①のキャラ)といこいーな をプリントした小1用、黄色のランドセルカバーを製作、配布する。④語り部の方を各小中学校に招いて、保護者同伴でお話を聞き、家庭でも話し合う取り組み(現在の西東京市のどのあたりにどんな戦争の爪痕があったかを直接知る)。⑤西東京市平和音楽コンクールを新たに創る(合唱や合奏など)
- 過去の歴史認識については義務教育の徹底により、正しい知識習得が必須。  
若い世代の考える平和の定義は尊重すべきであり、核廃絶イコール平和だ、など、間違った情報を行政が主導的に拡散することはやめるべきと考える。  
行政は事実のみを正確に全世代に平等に情報発信し、受けて側が考えれば良い。
- 私は作曲家で、つい先日、世界平和をテーマにした朗読劇に音楽制作で参加しました。  
とても素晴らしい内容で、有名声優を多数起用しており、若い人に届く内容だと思いました。この街でも、自分の働きかけて、何かそのような公演ができないかなあと思いました。  
若い人に人気のある方の力を借りるというのは、ときに必要なことかなあと思います。特にこういう繊細な問題については…!
- 机上で考えるより、広島、長崎に足を運び、戦争や平和とは何かを学んでほしい。  
私自身、広島出身で、小学生時代から、平和学習には取り組んでいて、8月6日の平和祈念式典によく出席したり、社会人になってから、広島在住時代は、被爆体験を語り継がれる方の補助や橋渡しの奉仕をさせて頂いたことがあった。  
被爆体験された方々は年々高齢になられ、語り継いでいくのが難しくなっているが、被爆体験された DVD を視聴するとか、被爆者の方が亡くなられたとしても、その近親の方が語り継いでおられる等、工夫している。  
被爆体験を聴くのが難しければ、戦争体験を聴くのもよい。  
人は、ともすれば、地図を見ただけで、その土地に行った、と錯覚する傾向がある。しかし、そこに行ってみないと、その土地で生活している人が、どんな思いで暮らしてきたか・暮らしているかはわからない。実際に足を運んでみなければ、心で感じることはできない。「理論より実践」。  
反戦漫画「はだしのゲン」の作者・中沢啓治さんが、「私の漫画を、怖い・気持ち悪

い、という感想を頂く。しかし、それが戦争だったのであり、自然な感想である。戦争や平和を知るために、どうか、気持ち悪い・怖いと思って読んで下さい。そう思わない人がいたら、ちょっと常識のない人です」と言われていた。

先日の、広島サミットで、ウクライナのゼレンスキー大統領が来日され、しかも広島に来られたことは、大きな希望であった。

「戦争は人の心の中から起きる」と学生時代に教わったことが今でも心に刺さっている。いまだに続く国の紛争、戦争で、送金するだけで解決になるのかと疑問であるが、平和を祈り願うと同時に、背中を押し出されて、問 13 に書かれている平和活動をできることからやっていきたい。



# 平和推進の取組

## ○映像作品 忘れてはいけない記憶 ～西東京市にもあった戦争・アニメ原爆の記～

西東京市内における戦時中の様子や今も残る戦争の遺跡、戦争の体験談、市で取り組んでいる平和事業の様子を紹介しています。

また、合併前の初代田無市長の指田吾一が自身の被爆体験を綴った書籍『原爆の記』の一部をアニメーション化しています。



⇒こちらのページから視聴できます



## ○子ども・若者平和ワークショップを開催しました！

～働く子どもたちのことと平和について  
バングラデシュの児童労働とSDGsを通じて平和を考えるワークショップ～

令和5年6月25日に、小学生・中学生17名とその保護者の皆さんに加えて、若者スタッフとして市内の高校生、大学生が13名、市長・副市長・教育長も加わって、多世代で平和とSDGsについてのワークショップを行いました。



### <参加した子どもたちからの感想>

- ・SDGsについてより深く学べたことや日本より貧しい国での児童労働について学びました。
- ・外国は厳しいなと思った。
- ・世界ではこどもが働いているという事が知れた。
- ・自分と同じぐらいの年齢の子供の生活を通して、SDGsについて学び、かつ、自分でもできることを考えることができました。

⇒市ホームページで当日の様子を紹介しています



○令和5年度に開催される予定のイベントなどをご紹介します!

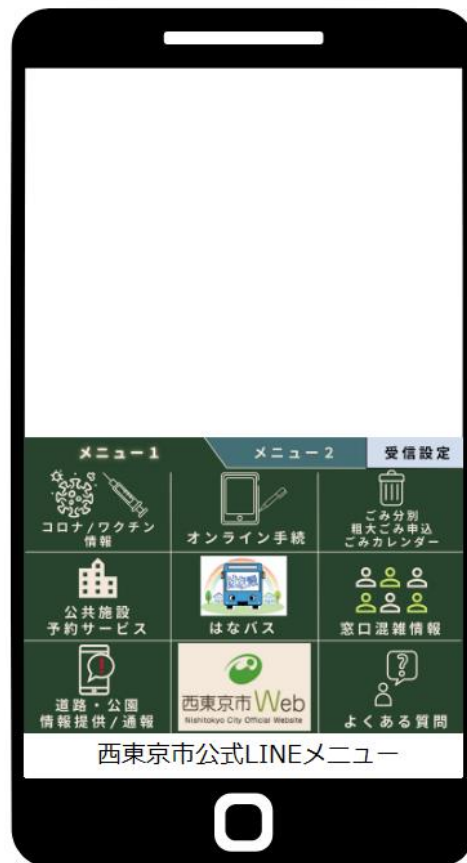
| 事業名       | 日程                   | 内容   | 場所                              |
|-----------|----------------------|--|---------------------------------|
| 非核・平和パネル展 | 令和5年<br>8月7日～<br>10日 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 西東京市戦災パネル展示</li><li>● ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等ポスター展示</li><li>● 子ども・若者平和ワークショップ報告 など</li></ul> | アスタ田無<br>センターコート                |
| 夏休み平和映画会  | 令和5年<br>8月26日        | <ul style="list-style-type: none"><li>● 映画上映</li><li>● 広島平和の旅参加報告 など</li></ul>   | タクトホームこもれび<br>GRAFARE ホール       |
| ピースウォーク   | 令和5年<br>10月22日       | <ul style="list-style-type: none"><li>● 市内外の戦争遺跡等を歩いて巡る</li></ul>  | 旧中島飛行機武蔵<br>製作所(現武蔵野<br>中央公園)など |
| 非核・平和学習会  | 令和5年<br>12月頃         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 平和をテーマに講演等を実施</li></ul>  | 未定                              |
| 平和のリング点灯式 | 未定                   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 田無駅北口平和のリングの修復を記念した行事を開催</li></ul>   | 田無駅北口                           |

詳細は、市報や市ホームページで  
お知らせします。  
少しでもご興味があれば  
ぜひご参加ください。



西東京市公式 **LINE** をご利用ください!!

右上の「受信設定」ボタン  
で欲しい情報を選ぶこと  
ができます。  
市のイベントなども発信中  
です!



※ LINE メニューイメージ

- **欲しい情報だけを受け取れます(セグメント配信)**

→お友だち登録をした後、受信設定で設定ができます。

- **オンライン手続の一覧が確認できます。**
- **市民課の窓口混雑状況がわかります**
- **ごみの分別などが検索できます**
- **はなバスの運行状況や時刻表が確認できます**

その他にも、防災情報や健康情報などもご覧いただけます!  
ぜひ、お友だち登録をお願いします!

お友だち登録はこちらから→





西東京市